

第2回 横浜市保土ヶ谷区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 議事録	
日 時	令和2年5月14日(木)から令和2年6月8日(月)まで
開催場所	書面開催
出席者	【選定委員】 縣委員、片山委員(委員長)、志村委員、大尾委員、田中委員、中西委員、中村委員、樋口委員、堀委員、渡部委員(50音順)
欠席者	なし
開催形態	一部非公開(傍聴者なし) ※議題3以降は非公開
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 第2回選定委員会の開催方法変更(案)について 2 評価の最低制限基準の見直し(案)について 3 応募団体の審査について <ol style="list-style-type: none"> (1) 応募団体のプレゼンテーション (2) 財務状況分析結果の確認 (3) 応募団体への質疑応答 (4) 委員間での意見共有 (5) 各委員による採点 4 指定管理者の候補者の選定について
決 定 事 項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、第2回選定委員会は、開催方法を集合形式から書面による開催に変更とする。 ・ 最低制限基準は、各委員の持ち点に出席者数を乗じた数の60%とする。ただし、持ち点から「前期の指定管理業務の実績」の配点は除くこととする。 ・ 指定管理者の候補者(以下「指定候補者」という。)及び指定候補者を指定管理者として指定できない場合に指定候補者に代わって指定候補者となる者(以下「次点候補者」という。)として、次のとおり、横浜市保土ヶ谷区長に報告することとする。 <ol style="list-style-type: none"> 1 横浜市岩崎地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人なでしこ会 次点候補者：なし 2 横浜市今井地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人清光会 次点候補者：なし 3 横浜市仏向地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人清光会 次点候補者：なし 4 横浜市星川地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人横浜市福祉サービス協会 次点候補者：なし 5 横浜市川島地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者

	<p>指定候補者：社会福祉法人朋光会 次点候補者：なし</p>
議 事	<p>1 第2回選定委員会の開催方法変更（案）について 事務局の提案を審議し、事務局案のとおり決定した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、第2回選定委員会は、開催方法を集合形式から書面による開催に変更とする。</p> <p>2 評価の最低制限基準の見直し（案）について 事務局の提案を審議し、事務局案のとおり決定した。 ・最低制限基準は、各委員の持ち点に出席者数を乗じた数の60%とする。ただし、持ち点から「前期の指定管理業務の実績」の配点は除くこととする。</p> <p>3 応募団体の審査について 各団体についていずれも書面で（1）～（5）の手順で審査を実施した。 （1）応募団体のプレゼンテーション（団体の概要、事業計画等について説明） 各委員が応募団体から提出されたプレゼンテーション資料を確認。 （2）財務状況分析結果の確認 ・横浜市が第三者機関に委託した財務評価の結果を事務局から報告。 ・税理士の渡部委員による所見の説明。 （3）応募団体への質疑応答 応募関係書類やプレゼンテーション資料に関する質疑応答。 ＜主な質疑応答＞ ア 横浜市岩崎地域ケアプラザ （委員）運営ビジョンに身近な相談窓口と記載されていますが、特に子育て中の養育者（障害のある子を育てる方等含む）が気軽に相談できるようにするための計画について教えてください。 （団体）自主事業を実施する際に相談の機会を確保すること、子育て支援拠点こっころをはじめ、近隣保育園・幼稚園等との協働にて相談場所の周知や広報活動を行う予定です。また、今まで以上に広報紙・チラシ等を活用し地域へ幅広く広報していく予定です。 （委員）地域の課題である担い手不足の解決に向けて（高齢者の見守り等）、誰もが担い手となれる観点での具体的な取組や、関係機関との連携について教えてください。 （団体）誰もが日常生活の中で、地域の見守り等ができる視点を持っていただけるよう、地域にて講座を開催したり、自治会、民生委員・児童委員、職能団体等との会議にて連携を図ったりしています。また認知症サポーター養成講座を開催し、地域の中で見守りが拡充できるよう努めていきます。</p>

イ 横浜市今井地域ケアプラザ

(委員) 包括相談件数(介護保険相談)の推移がわかりやすく、分析からの事業展開はとても有効だと思いました。相談件数増加の要因はどのようなことだと思われますか。

(団体) 相談内容の複雑化により、継続相談が増加しており、それが全体の相談件数の増加につながっています。また、相談者は家族や本人が多いですが、近年は地域住民、特に民生委員・児童委員からの相談も増加しています。あんしん訪問員研修の実施や自治会の活動への参加を通じた、顔の見える関係づくりと相談窓口の周知による結果が、相談件数の増加の要因と考えます。

(委員) 介護事業等、高齢者を対象とした事業内容において、新型コロナウイルス感染症の感染防止に向けて取り組んでいる内容を挙げてください。また、困っている点等もありましたら挙げてください。

(団体) 新型コロナウイルスの影響で介護予防事業の実施ができないため、自宅でできる介護予防体操等の動画を撮影し、広報紙への掲載や、動画配信サイトによる配信を行いました。また、新たに広報紙を近隣のスーパーに配架して、多くの方の手に渡るようにしました。病院受診に不安を持つ相談者には、往診医や病院の紹介をしています。当施設で感染が発生した場合でも業務が滞らないように、職員の勤務体制を調整しています。

ウ 横浜市仏向地域ケアプラザ

(委員) 地域住民のアンケート結果から事業を立ち上げる時に、後方支援として携わっているのは良い取組だと感じました。今後の担い手育成(若い世代の巻き込み等)についてお聞かせください。

(団体) 当地域ケアプラザの担当地区は、ここ数年若いファミリー層の流入が多く、子育て支援の事業は常に満席です。そこで、地域活動交流、生活支援の両コーディネーターが連携し、① 防災、農業等のイベントを通し、地域の一員としての意識を高めてもらう。② ボランティア活動を含む地域活動を紹介するイベントを開催し、意識がある方に向けてどんな活動があるか紹介する。③ 独自のボランティアポイントを設定し、活動の励みになる仕組みを作る。④ 若い世代が気楽に参加できること、SNS を通じた地域情報提供と取りまとめ、ウェブページの更新等、新しい形の地域活動を一緒に模索する。といった4点を重点項目に進めていく予定です。

(委員) 介護事業等、高齢者を対象とした事業内容において、新型コロナウイルス感染症の感染防止に向けて取り組んでいる内容を挙げてください。また、困っている点等もありましたら挙げてください。

(団体) 当法人では、感染防護用の必要物品の確保や、通所介護の縮小運営、来館者の管理、職員への検温やマスク着用の徹底等、新型コロナウイルス感染防止に向けた取組を早期に実施してきました。また、毎週法

人内で新型コロナウイルス感染症ミーティングを行い、法人内の各事業所の利用者の状況、職員の状況、感染防止に向けた取組等、全事業所が統一した形で運営にあたるよう、意見交換、情報共有を行っています。運営上では、現在は貸館及び各地域での集いが行われていないため（5月28日時点）、介護予防に必要な運動量の減少による身体機能の低下や、交流不足による認知症の発症、進行を懸念しています。

エ 横浜市星川地域ケアプラザ

（委員）職員の育成に力を入れていますが、事業や相談業務のなかでスキルの高さが活かされた事例がありましたら教えてください。

（団体）「川辺町住宅見守り会議」は、職員が地域に出向いた際に聴いた民生委員・児童委員の方の何気ない言葉が発端となり、地域の見守り活動として発展しました。職員の専門性をもってお聴きすることで課題が明確になり、ニーズに沿った支援が可能となりました。

（委員）子ども達に認知症の理解を深めてもらう取組はとても良いと思います。今後の方向性(取り組む学校を増やす等)をお聞かせください。

（団体）平成28年1月に誕生したネーブルの会とともに、これまで小学校1校（4～6年生）、中学校1校（2年生）、高校1校（1年生）で延べ373名に対し認知症サポーター養成講座を実施しています。また地域ケアプラザを会場に小学生対象の認知症サポーター養成講座を実施しました。今後もネーブルの会の皆さまとともに学校や地域へ働きかけ、サポーターを増やすための取組を続けていきます。新たに中学校からデイサービスでの職場体験の依頼を受ける等、つながりが広がってきました。

オ 横浜市川島地域ケアプラザ

（委員）地域との連携について、重要と捉え、継続・発展のため努力するとあります。次期の指定管理期間で達成するための具体的な事業目標を長期・中期・短期の計画と達成に必要な期間を教えてください。

（団体）川島地域見守りほっとラインの推進に、中・長期目標として5年間で地域の中に気になる方がいた際に地域住民、商店が見守りし、必要なときに川島地域ケアプラザに連絡できるような体制づくりに取り組んでいきます。また、短期目標として1年間で、事業に御協力いただける地域住民や商店の方に集まっていただき、連絡会を開催し、それぞれができる具体的な見守りについて考えるきっかけとなるよう取り組んでいきます。

（委員）地域ケアプラザの役割、事業について認識が不足していると思われます。特に未連合の地域住民への広報活動についてウェブページの活用以外で御説明ください。

（団体）未連合の町内会へは地域ケアプラザ広報紙の回覧や、民生委員・児童委員の方や地域役員の方と連携を取り、出前講座を実施しています。

直接住民の方とお会いすることで、地域の隅々まで地域ケアプラザの役割や事業の周知を行えると考えています。

- (4) 委員間での意見共有
- (5) 各委員による採点

4 指定管理者の候補者の選定について

プレゼンテーション及び前期の指定管理業務の実績に係る事務局からの報告等を受けて行った各委員の評価結果を集計した。

(1) 横浜市岩崎地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点
指定候補者	社会福祉法人 なでしこ会	2,401／3,050 点
次点候補者	なし	—

(審査講評)

- ・広いエリアを担当する中で、それぞれの地区の特性を生かした支援や動機づけを効果的に実施できている点や、学校・民間企業との連携に積極的に取り組んでいる点が優れています。
- ・地域に積極的に向かいニーズを把握し、関係機関と連携しながら地域ケアプラザとしての役割を果たしていくことが期待できます。

(2) 横浜市今井地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点
指定候補者	社会福祉法人 清光会	2,600／3,150 点
次点候補者	なし	—

(審査講評)

- ・福祉分野のみならず医療分野における実績もあり、その強みを生かした事業展開がなされている点、データに基づく現状分析が丁寧に行われている点の評価します。
- ・長年にわたる継続的な施設運営を通じ、地域との良好な関係が築かれており、今後も身近な相談窓口としての役割を果たしていくことが期待されます。

(3) 横浜市仏向地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点
指定候補者	社会福祉法人 清光会	2,502／3,000 点
次点候補者	なし	—

(審査講評)

- ・地域のことをよく理解したうえで、高齢者・障害児者・子育て世代等といった様々な分野の事業が展開されている点がとても良いです。
- ・これまでの経験を存分に発揮し、若い世代も巻き込みながら、地域とともに課

題に取り組んでいくことを期待します。

(4) 横浜市星川地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点
指定候補者	社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会	2,550／3,150 点
次点候補者	なし	一点

(審査講評)

- ・新旧の住宅が混在する地域の特性をよく把握し、多様な住民のニーズを見極めながら事業展開している点を評価します。
- ・職員のスキルアップに関する取組も充実しており、今後も個々のスキルを事業の成果につなげていきながら、取り組んでいくことを期待します。

(5) 横浜市川島地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点
指定候補者	社会福祉法人 朋光会	2,315／3,000 点
次点候補者	なし	一点

(審査講評)

- ・幅広い層・分野を対象とした取組や、高齢者の多い地域における出張講座の実施等、工夫と努力を重ねながら、積極的な事業展開ができています。
- ・地域に根差した地道な活動やアイデアを生かし、今後も地域の中で果たす役割を確固たるものにして下さい。

指定候補者の得点は、いずれも最低制限基準を満たすため、選定委員会として社会福祉法人などでしこ会他を指定候補者として選定することを決定する。

資 料
・
特 記 事 項

1 資料

- 資料1 横浜市保土ヶ谷区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 委員名簿
- 資料2 (説明資料) 第2回指定管理者選定委員会の進め方について
- 資料3 第2回選定委員会の開催方法変更について (案)
- 資料4 最低制限基準の考え方の見直しについて (案)
- 資料5 岩崎地域ケアプラザ プレゼンテーション資料等
- 資料6 今井地域ケアプラザ プレゼンテーション資料等
- 資料7 仏向地域ケアプラザ プレゼンテーション資料等
- 資料8 星川地域ケアプラザ プレゼンテーション資料等
- 資料9 川島地域ケアプラザ プレゼンテーション資料等
- 資料10 質疑応答・意見記入用紙の作成について

2 特記事項

特になし